



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月10日

上場会社名 F I G株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 4392 URL https://www.figinc.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8730
 四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	3,471	△2.1	257	△35.3	254	△34.2	186	△21.6
2022年12月期第1四半期	3,544	18.4	397	98.0	386	83.9	237	79.9

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 116百万円(△51.1%) 2022年12月期第1四半期 237百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	6.19	6.11
2022年12月期第1四半期	8.12	8.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	22,160	9,525	42.4
2022年12月期	21,463	9,709	44.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 9,390百万円 2022年12月期 9,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	0.7	520	△44.2	485	△49.7	324	△52.8	10.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 1 Q	31,300,315株	2022年12月期	31,300,315株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	1,218,364株	2022年12月期	1,218,356株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 1 Q	30,081,956株	2022年12月期 1 Q	29,257,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、Society5.0の実現に向けてIoTセグメントを中心とした事業を展開しております。当連結会計年度は、中期経営計画（FY2022～FY2024）の2年目となり、最終年度のKPIの上振れを目指して基盤事業（IoT×SaaS）の拡大と成長事業（ペイメントとロボット）への積極投資をグループの事業戦略として各種施策を実施した結果、IoTセグメントが好調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,471百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は257百万円（同35.3%減）、経常利益は254百万円（同34.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は186百万円（同21.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①IoT

前年同期に比べ大型案件のフロー売上高が減少した影響等により減収減益となりましたが、サブスク売上高は順調に拡大しました。また、主力デバイスの部材調達不足が発生していましたが、現行部材の調達確保に努めた結果、一定数の部材は確保できたとともに年度末案件（公共機関の3月）もあったことから、業績は好調に推移しました。

この結果、外部顧客への売上高は2,217百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は445百万円（同20.5%減）となりました。

②マシーン

当四半期においては、将来の中核事業とすべくロボットの増産体制に着手し、ロボット関連の売上高増加などにより、前年同期に比べ増収増益となりました。また、継続的な課題である長納期部材の先行手配や調達先との交渉にも取り組んでおります。

この結果、外部顧客への売上高は1,191百万円（同6.4%増）、営業利益は60百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

③スマートシティ

スマートシティは、主にマンション等の不動産賃貸事業であり、前連結会計年度より賃貸事業を開始しております。

この結果、外部顧客への売上高は62百万円（同70.9%増）、営業利益は30百万円（同49.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、22,160百万円となり、前連結会計年度末と比べ696百万円増加しました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が747百万円増加したこと及び繰延税金資産が90百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、12,635百万円となり、前連結会計年度末と比べ881百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が119百万円減少したものの、短期借入金が405百万円増加したこと及び長期借入金が340百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、9,525百万円となり、前連結会計年度末と比べ184百万円減少しました。これは主に配当金の支払等により利益剰余金が114百万円減少したこと及びその他有価証券評価差額金が73百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,199	2,187
受取手形、売掛金及び契約資産	4,631	5,379
リース投資資産	4,441	4,404
棚卸資産	2,089	2,130
その他	740	519
貸倒引当金	△44	△44
流動資産合計	14,058	14,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,928	1,906
土地	1,718	1,718
その他(純額)	435	448
有形固定資産合計	4,082	4,073
無形固定資産		
のれん	282	267
その他	539	550
無形固定資産合計	821	818
投資その他の資産		
投資有価証券	1,338	1,438
繰延税金資産	93	184
長期未収入金	883	883
その他	196	196
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	2,501	2,691
固定資産合計	7,405	7,583
資産合計	21,463	22,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,759	1,639
短期借入金	1,925	2,331
1年内償還予定の社債	17	17
1年内返済予定の長期借入金	930	1,102
未払法人税等	249	148
未払消費税等	128	141
賞与引当金	58	236
製品保証引当金	29	34
その他	705	687
流動負債合計	5,803	6,340
固定負債		
長期借入金	5,681	6,021
繰延税金負債	59	54
役員退職慰労引当金	57	60
退職給付に係る負債	135	137
修繕引当金	11	15
その他	5	5
固定負債合計	5,951	6,295
負債合計	11,754	12,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,030	2,030
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	3,575	3,460
自己株式	△312	△312
株主資本合計	9,301	9,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269	196
為替換算調整勘定	5	6
その他の包括利益累計額合計	275	203
新株予約権	124	124
非支配株主持分	8	10
純資産合計	9,709	9,525
負債純資産合計	21,463	22,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	3,544	3,471
売上原価	2,449	2,417
売上総利益	1,095	1,054
販売費及び一般管理費	698	796
営業利益	397	257
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	1	7
その他	2	3
営業外収益合計	3	11
営業外費用		
支払利息	13	10
支払手数料	—	3
その他	1	0
営業外費用合計	14	14
経常利益	386	254
特別利益		
投資有価証券売却益	—	70
特別利益合計	—	70
特別損失		
和解金	—	57
特別損失合計	—	57
税金等調整前四半期純利益	386	267
法人税、住民税及び事業税	183	140
法人税等調整額	△33	△61
法人税等合計	150	79
四半期純利益	236	187
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	237	186

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	236	187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△73
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	1	△71
四半期包括利益	237	116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	114
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年3月29日 定時株主総会	普通株式	155	5.00	2021年12月31日	2022年3月30日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月28日 定時株主総会	普通株式	300	10.00	2022年12月31日	2023年3月29日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、グループ創立20周年・新規上場10周年の記念配当5.00円を含んでおります。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I o T	マシン	スマート シティ			
売上高						
外部顧客への売上高	2,389	1,119	36	3,544	—	3,544
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	13	—	14	△14	—
計	2,389	1,133	36	3,559	△14	3,544
セグメント利益又は損失(△)	560	△2	20	578	△181	397

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△181百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I o T	マシン	スマート シティ			
売上高						
外部顧客への売上高	2,217	1,191	62	3,471	—	3,471
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	63	0	67	△67	—
計	2,221	1,255	62	3,538	△67	3,471
セグメント利益	445	60	30	535	△278	257

(注) 1. セグメント利益の調整額△278百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。